

PAPAGO!

Driving Partner with you!

取扱説明書 User Guide

GoSafe 381

スライド式・FullHD高画質ドライブレコーダー

DC12V～24V対応



FC



CE

地デジなどと電波干渉しにくい設計を採用

Copyright © 2001-2015 , PAPAGO Inc. All rights reserved.

この度は、PAPAGO!製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

ドライブレコーダーのご使用にあたり下記の作業をお薦めいたしております。
SDHCメモリカードやMicroSDメモリーカードを定期的にフォーマット作業を行うこと、お願いいたします。詳しい操作方法是製品の「取扱説明書」にてご参照ください。

ドライブレコーダーに使用されるメモリーカードは車から供給される電圧電流が不安定と言われ、また、常にデータアクセスするため、一定の使用時間が経つとメモリーカード内部の構造が多少変わります。その原因で、本体が繰り返し再起動する可能性が高くなります。この場合にはドライブレコーダーの不良もしくは不具合が発生されていることはありません。

定期的にご使用のメモリーカードをフォーマットすることにより、メモリーカードを再構築でき、より安定したデータを記録出来ます。

注)
メモリーカードをフォーマットされる前に必ずパソコンなどに必要ファイルをバックアップしてからフォーマットしてください。フォーマットを行うと全てデータが消去されます。 ご注意下さい。

又、何か不明な点などございましたらお問い合わせください。
今後ともご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

GoSafe 381ご使用前の注意事項（必ずお読みください）

- 1、他社製のシガープラグケーブルをご使用頂く際、電圧不安定で本体起動出来ない、録画途中で画面が中断、録画データがうまく取れないなどの恐れがありますので必ず本製品に付属しているシガープラグケーブルをご使用下さい。
- 2、市販されているシガーソケット分配器は製品の品質によって、本製品と併用される際、電圧不安定で本体起動出来ない、録画途中で画面が中断、録画データがうまく取れないなどの恐れがありますので使用しないでください。
- 3、本製品付属品もしくは同梱品以外での製品を合わせて併用される際、本製品に損傷や損害・破壊・爆発などを与える恐れがあります。その際に、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害など弊社はすべて責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 4、本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、お客様ご自身が弊社ホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお勧めします。
- 5、本製品の初期不良交換期間はご購入日から起算して2週間以内となります。
- 6、本製品の無償保証期間はご購入日から起算して1年間となります。
万が一故障した場合は販売店または当社サポート窓口の本保証書を添えてお申し出ください。
また、修理依頼品をお送りいただく際の送料は、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- 7、運送中の破損や紛失などについて、弊社は責任を負いかねます。
運送中の衝撃などに耐えられるよう、ご注意の上、梱包してください。

安全上のご注意（必ずお読みください）

製品を安全にご利用いただくため、ご使用の前に以下の「安全上のご注意」をご確認ください。当説明書では、お客様や周辺の方々への危害や財産への損害を未然に防止し製品を安全にお使いいただけるよう図記号を併せて注意・警告の喚起を行っています。

- 下記の表示は 誤った取扱によって生じる可能性のある危害・損害の程度を示しています。

 警告	死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	怪我をしたり、周辺の財産に損害を与える可能性があります。

- お客様に守っていただきたい内容を説明しています。

 禁止事項 （やってはいけない内容です）	 指示事項 （実行・遵守いただきたい内容です）
---	---

 注 意			
 禁止	運転中に画面やLEDインジケータを注視しないでください。 前方不注意による事故の発生原因となる可能性があります。 コードを噛み込ませたり、引っ張ったり傷つけたりしない。 ショート・断線などにより、発火など故障・不具合の原因となる事があります。	 指示	安定した場所に設置・固定してください。 固定されていない状態および不安定な状態でのご使用は、急ブレーキなどの際、思わぬケガや損傷を負う危険があります。 必ず固定してご使用ください。 取り付けはフロントガラスの上下範囲のうち上端から20%の範囲を目処に取り付けてください。
 指示	規定容量のヒューズを使用してください。 必ず製品の規定容量のヒューズをご使用ください。	 禁止	ケーブルを引っ張らないでください。 シガープラグを抜く際は、ケーブルを引っ張ったりせず、必ずシガープラグを持って取外してください。
 指示	音量にご注意ください。 電源投入時、スピーカーから大きな音が出る場合があります。電源を切る前に音量を下げてください、また適切な音量設定でご利用いただくなどご注意ください。	 禁止	停車中に長時間使用しないでください。 エンジンを停止したまま長時間にわたり使用しないでください。バッテリーの放電によりエンジンが始動しない恐れがあります。

警告

 禁止	規定電圧以外で使用しないでください。 当製品はDC12V～24Vマイナスアース車専用です。規定外の電源・電圧での使用は発火・感電等の原因になります。	 指示	車を離れる時は電源を切ってください。 車種により、エンジン停止状態でもシガーソケットに常時給電されている車種があります。 ご使用にならない時はシガープラグを抜いてください。
 水かけ禁止	水をかけたり、濡らさないでください。 内部に水が入ると故障・発火・感電の原因になります。		
 禁止	運転の妨げになる場所に設置しない。 視界を妨げたり運転操作に支障のする場所には設置しないでください。 視界不良、操作ミスにより交通事故の原因となる可能性があります。	 禁止	高温にご注意ください。 高温を発生するヒーターなどの付近に設置しないでください。 発火・故障・変形等の原因になります。
 指示	エアバックにご注意ください。 エアバッグの作動範囲外に取り付けてください。 エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。	 指示	シガープラグを定期的に点検してください。 シガープラグやソケットを定期的に点検し、ホコリや汚れがないよう清掃してください。汚れによって動作不良や発火・感電等をひき起こす原因になります。
 異常のときはシガープラグを抜く。	故障・異常の際はすぐに点検を！ 発煙、異臭、異音など異常が発生した場合は、シガープラグを抜き販売店に点検をご依頼ください。 発火・感電等の原因となります。	 禁止	
 禁止	分解・改造しないでください。 感電・故障の原因となりますので絶対に分解・改造しないでください。		運転中は操作しないでください。 走行中の操作は前方不注意・運転操作ミスによる事故の原因となります。 必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを掛けた状態で操作を行ってください。 また、手動録画操作等の際には周囲の安全を十分に確認してから操作を行ってください。

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる障害は直接的、間接的に問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記録内容の変化・消失など)に関して当社は一切の責任を負いかねます。

万一落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので、慌てずに周囲を確認してから安全な場所に停車してください。

- 本機はすべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 万が一、映像が記録されなかった場合や、記録された映像データが破損していた場合、また映像内容の詳細が判別できないことによる損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。
- 昼間に日差しや夜間にライト・ナビの画面など反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- LED式信号機や標識などは目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

本製品取付、配線時注意事項：

- 本製品及び接続ケーブルを車内に配線頂く前に、必ず動作確認を行ってから配線してください。
- ケーブル類を配線するときは、車両側部品との噛みこみに注意し、突起物に当たらないようにしてください。
※本製品の破損や漏電、事故・火災・感電等の原因となります。
- 取付完了後は、ブレーキ・ライト・ホーン・ウィンカー等すべての電装品が正常に動作することを確認ください。
車内配線に未経験の方は、必ず整備工場や専門業者に相談の上、取付けを行ってください。
- 万一上記問題がございまして当社と致しましては、一切責任は負いかねますのでご注意ください。

本製品は使用方法に間違いがなかった場合でも、画像やデータの記録を完全に保証するものではありません。本体に保存されたデータの消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。

●本製品の仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

使用注意事項

1. 使用法

1. エンジンを停止してもシガーライターに給電されている車両の場合、車両バッテリーの放電防止の為、未使用時にはシガープラグを必ず抜いてください。
2. エンジン停止後やアクシデントにより電源が切断された際などに一定時間録画状態を保てるように本体内にバックアップ電源を搭載しています。
また、本体の電源OFF直後もシステムおよびファイル保護の為、電源は即座には切れません。
3. 本体電源OFF直後は前述のようにファイル保護の為、シャットダウン処理中の場合があります。完全に電源が切れるまでMicroSDHCカードを抜かないでください。
MicroSDHCカード内のファイル破損MicroSDHC カード自体の破損等につながる可能性があります。

2. 使用するMicroSDHCカードについて

1. 容量8GB以上、速度Class 10以上のMicroSDHCカードをご使用ください。
2. 使用前にMicroSDHCカードをフォーマットしてください。
3. 使用するMicroSDHCカード容量によって記録可能な時間が異なります。

※MicroSDHCカードは消耗品であり、書き込み可能回数や使用状況などで製品寿命があります。約1年を目安に交換することをお勧めいたします。

※MicroSDHCカードは使用状況や安定して使用頂くため、定期的にMicroSDHCカードをフォーマットすることをお勧めいたします。

参考記録時間

MicroSDHCカード容量	FullHD1080p /30fps時 参考記録時間	HD 720p /30fps時 参考記録時間
8GB	2 時間	3.5時間
16GB	4 時間	7 時間
32GB	8 時間	14 時間

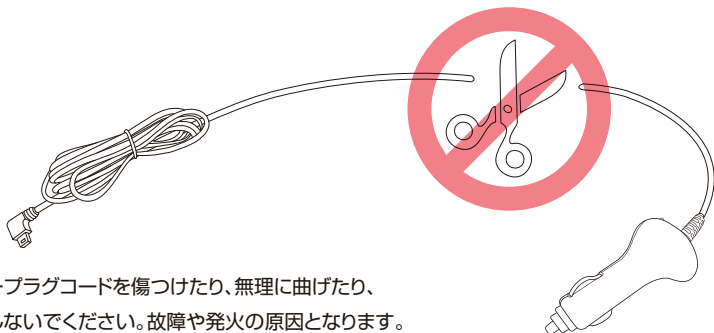
※上記値は参考値(目安)で、絶対保証するものではありません。

※ご使用される周囲環境やメモリーカードの容量などの要因で記録可能な時間や件数が異なります。

3. 電源ケーブルについて

GS381は、専用の電源ケーブル以外を使用すると正常に動作しない場合があります。必ずパッケージに付属の12/24Vシガープラグケーブルを使用し、本体側面にあるUSB充電対応端子に接続してください。

参考情報



シガープラグコードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や発火の原因となります。

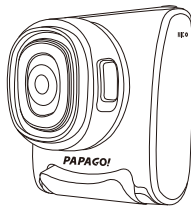
※本製品ドライブレコーダーへの入力電力仕様をよくご確認の上、必ず電圧変換を十分ご配慮ください。電圧変換や配線などを間違えてしまうと本製品の故障・エンジン故障・事故の原因になります。詳しくは販売店または車整備専門店の方にご相談ください。

1.はじめに

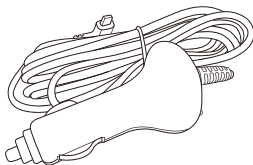
1.1 パッケージ内容

ご使用前にパッケージ内容がそろっているか最初にご確認ください。

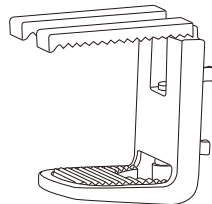
① 本体



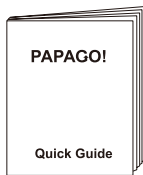
② 12/24V シガープラグ



③ バックミラー専用フレーム



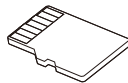
④ 日本語取扱説明書



⑤ 国内保証書

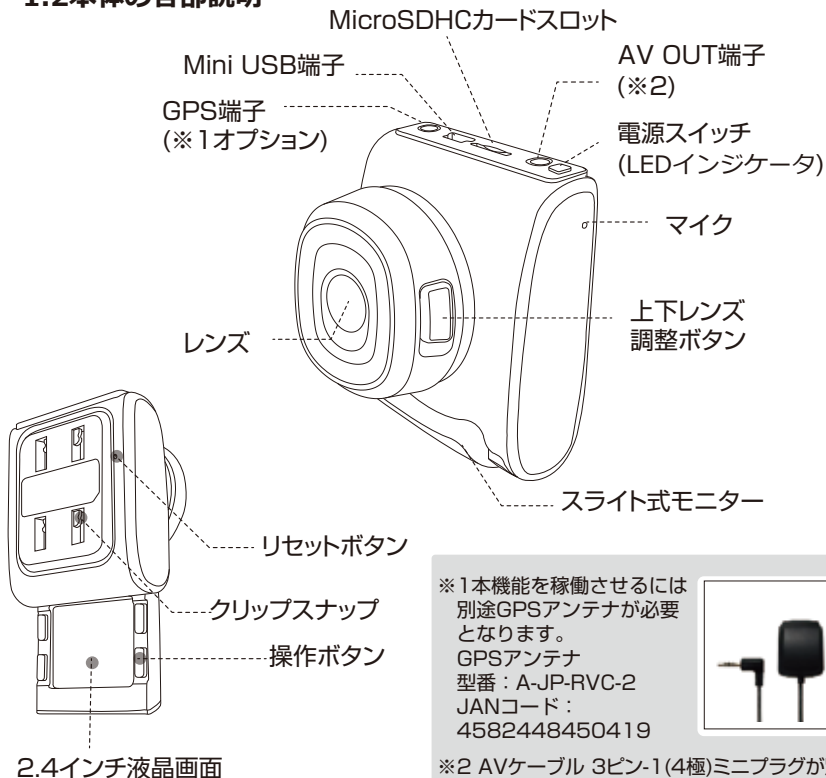


⑥ 8GB CLASS10
MicroSDHC
x1枚



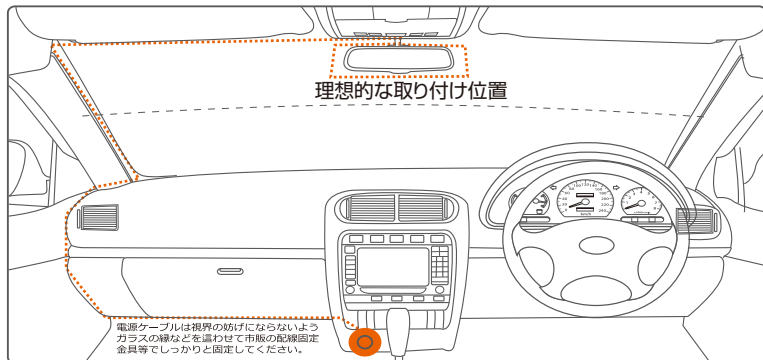
弊社製品の改良などの理由により、予告なく変更される場合があります。

1.2 本体の各部説明



2.取り付け/取外し

2.1 取り付け位置の確認



1. GoSafe381本体と付属されている専用ブラケットをカチッと音までしっかりと固定させ、本体とブラケットが外れないように固定されているかご確認下さい。
2. バックミラーに専用ブラケット部分を取りつけてください。取付の際バックミラーがブラケットのアーム部分としっかり固定されているか確認し、付属しているシガーソケットケーブルを接続して車のエンジンをかけてください。
3. エンジン起動後にバックミラーの角度調整とGS381本体からモニター部分をスライドさせ録画されている角度を確認下さい。画角度がずれている場合はGS381本体を左右に動かし、上下に関してはGS381本体のレンズ部分にある上下レンズ調整ボタンで適切な撮影角度の調整をして下さい。

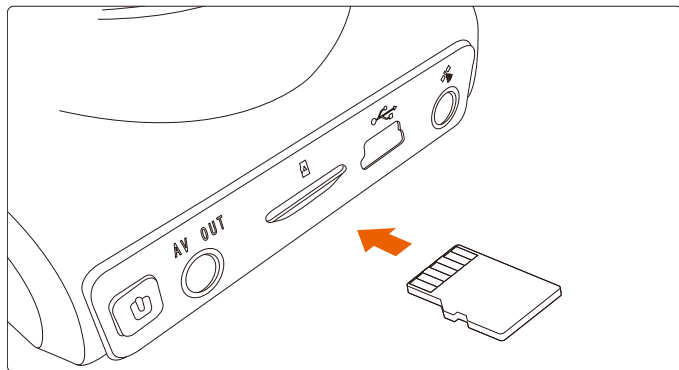


エアバッグ作動範囲にご注意ください

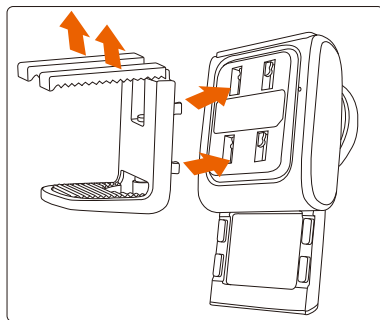
エアバッグ作動範囲内に取り付けた場合、エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。当社は車両衝撃やエアバッグ動作の原因で傷害や重傷、死亡等に至るな事故に関しては一切の責任を負いかねます。

2.2 MicroSD カードの取り付け

MicroSD カードの金属面を上にし、本体のMicroSD カードスロットに挿入します。



2.3 取り付け説明



- ① フレームサポートを本体のクリップスナップに引っ掛けます。
- ② 本体背面上方の二本の挟み板を上引き伸ばし、固定範囲を広げます。
- ③ 本体をバックミラー近くのガラス面の適切な位置に置き、挟み板をバックミラーの上下両側に合わせ、本体をバックミラーに固定します。
- ④ 本体の角度を調整し、ディスプレイが最適な位置に表示されるようにします。
- ⑤ シガープラグを本体のMini USB端子と車のシガーソケットに接続します。

2.4取り付け可能なルームミラーのサイズ



3.使い方

本製品はお客様が満足且つ快適にご使用頂くため、万全な設計と高品質管理で作られた製品です。

ただし、天候状況や明るさなどにより、録画された映像がはっきりしないもしくは映像保存エラーが発生し一部製品の安全機能がうまく稼働出来ない場合もございますので予めご了承ください。

例、

※急激に明るさが変わる場合

※日光の影と陽射しの逆光が強い

※車走行中の揺らぎ・振動など

※悪天候(大雨、雪、強風、濃霧、夜間など)

※夜の光源が全くない極端な場合など

3.1 起動～録画開始

- (1)電源コードがシガープラグに差し込まれている事を確認します。
- (2)電源コード先端のmini USB端子を本体USBコネクタに差し込みます。
- (3)MicroSDHCカードをスロットにしっかり差し込みます。
- (4)電源スイッチを押してパワーONします。

3.2 初回起動時

初回起動時は言語、地域及び現在時刻の設定を行ってください。

3.3 電源OFF～録画終了

- (1)電源スイッチを5秒以上押せば、パワーOFFします。電源ボタンを3秒以上長く押すと、再度パワーONします。
- (2)MicroSDHCカードの取り外しは、完全に電源が切れた事を確認してから行ってください。

3.4 LEDインジケータ

※実際の点滅の様式が見にくい場合があります。

LEDカラー	状態	意味
赤	常時点灯	充電中
	点灯しない	充電完成
緑	常時点灯	待機中・設定中
	点滅	録画中
	点灯しない	シャットダウン

3.4 各ボタンの機能

録画モード:



手動緊急録画ボタン



録画ファイル再生



設定メニュー



ボタンを押すと画面撮影(静止画)、
ボタンを長押しとマイクオン/オフ

録画ファイル再生:



録画モードに戻る



上へ



下へ



画像／録画データの選択

緊急ビデオファイル／ビデオファイル／写真ファイル



前へ戻る／録画モードへ戻る



上へ



下へ



削除



再生／一時停止／プレビュー



ロック

設定モード



戻る



上へ



下へ



確認

3.5 スクリーン表示内容



●02:48 : 録画中(赤●点滅)

🔊 : 音声記録ON/OFF

1080P30 : 画像解像度

⚠️ : 緊急録画状態

🚶 : 動体検知機能作動中

🕒 : タイムラプス

☕ : ドライバー疲労警告

💡 : ライト点灯忘れ警告

🚫 : 速度制限標識警告

🚦 : 出発遅延警告

60km/h : 走行速度(※オプション)

📷 : 写真データ保存中

2014/07/15 11:31:20 GS381 : 現在の日時

🔋 : 内蔵電池使用時

🔌 : 電源コード使用時

⚠️ : 緊急録画を起動

▶ : 録画再生

M : メニュー

📷 : スナップショット

4.録画／再生／削除

4.1 サイクル録画（繰り返し上書き録画）機能

- 1.電源が投入されると挿入しているMicroSDHCカードに自動的に録画を開始します。
- 2.継続して3分ごと（初期値）にファイルを作成して録画を続け、MicroSDHCカードの容量が足りなくなる場合に、自動的に古いファイルからを消去し、上書きして録画を継続します。

 “設定-循環録画”で各段のループ録画時間の長さを設定できます。

4.2 緊急録画

1.手動バックアップ（手動録画）

録画中に、  ボタンを押すことにより、リアルタイムに撮った映像を保護スペースに保存されます。

2.自動バックアップ（衝突感知自動保存）

衝突などにより衝撃を感知した際に自動的に前後の記録を保護スペースに移動させて上書きによる消去を防止します。

- 3.保護スペースに保存出来る容量は実際にご使用頂くメモリーカードの容量より約30%を設定しております。。それを超えると録画ファイルの保存が出来なくなります。「緊急録画容量不足」のアラーム メッセージを表示してから、一番最初のファイルから上書します。常に録画ファイル数を確認して他の場所（パソコンなど）に保存してから削除ください。

 “設定-衝撃感度センサー”でセンサーの感度を設定できます。

4.3 スナップショット

1. 録画中に、 ボタンを押すことにより、スナップショットができます。
2. スナップショットして撮った画像はMicroSDHCカード\PAPAGO\PHOTO\へ自動保存します。
3. スナップショットしたと、 のアイコンが出て行きます。
ご自分設定により 消去防止対策は可能です。

4.4 ビデオ再生／削除

1. 録画モードに、 ボタンを押して、再生リストを表示します。
2. 再生するファイルを選択します。
(緊急ビデオファイル／ビデオファイル／写真ファイル)
3. ファイルを選択し、 ボタンを押して、再生します。
4.  ボタンを押して削除する録画ファイル／写真を選択できます。



“アイコン” は録画ファイル／写真をすでにロックし保護されていることを表します。すでにロックし保護されている録画ファイル／写真は削除できません。ロックを解除し再度操作してください。

4.5 USBリンクによるファイルの読み取り

1. USBケーブルを用いて、本体とパソコンにリンクさせ、パソコン側に“リムーバブルディスク”として検知されます。
2. リムーバブルディスクを開けて、“PAPAGO”フォルダに入ります。
3. 必要とするファイルを選択して、パソコンにコピーします。



VIDEO フォルダ：一般録画 Emergency フォルダ：緊急録画
PHOTO フォルダ：写真ファイル

4.6 MicroSDカードからファイルの読み取り

1. 本体の電源をパワーOFF以後、MicroSDカードを取り出します。
2. MicroSDカードをパソコン側にカードリーダーに挿し込んで、パソコン側に“リムーバブルディスク”として検知されます。
3. リムーバブルディスクを開けて、必要とするファイルを選択して、パソコンにコピーします。

4.7 AV OUT出力

- ① AV出力ケーブル(※別途ご購入)で本機と出力設備をつなぎます。
 - ② 出力設備の入力信号ソースをAVに設定します。
 - ③ 出力設備のディスプレイを本機のディスプレイに替え、画面を表示します。
 - ④ 映像および写真の録画、再生、削除ができます。
- ※別途ご購入: AVケーブル 3ピン-1(4極)ミニプラグ

4.8 ファームウェアのアップデート

※本作業を行う前に、必ずメモリーカードに入っているすべてのデータのバックアップを取ってください。万が一、本作業を行う際に、本来メモリーカードに入っているデータが消える恐れもあり得ますので、弊社はその責任を一切負えませんので、予めご了承ください。

- ① PAPAGO JAPANホームページ:www.papago.co.jpをアクセスください。
- ② “製品サポート/ファームウェア ダウンロード”に入ります。
- ③ GoSafe 381 最新ファームウェアファイルをダウンロードしMicroSDカードのルートディレクトリに解凍します。
- ④ コピーを終えたらMicroSDカードを本機のMicroSDカードスロットに挿します。
- ⑤ 本機の電源を入れます。
- ⑥ LED 指示ランプが点滅し、アップデートを始めます。
- ⑦ アップデートが完了したら、本機は自動的に再起動します。
- ⑧ “設定-バージョン情報”で最新バージョンかどうかを確認できます。



MicroSDカードを使用しファームウェアをアップデートする際は、MicroSDカードの読み書きの安定性を保証するため、必ず本機でMicroSDカードの初期化をおこなってください。
起動できなくなるなどの状況を避けるため、システムのアップデート中は、電源を切らないでください。

5. 設定メニュー

※本設定メニューに「✓」の表示は本製品の初期設定です。）

録画モードで“”キーを押すと、設定モードに入ります。

5.1 GPS(※オプション)

GPSをオン(km)、オン(Mile)、オフ に設定します。

車の位置情報を記録し、専用ソフトで走行情報を簡単に確認可能。
(走行速度、経度などの位置情報がわかる)



※本機能を稼働させるには別途GPSアンテナが必要となります。

※GPSアンテナ／型番：A-JP-RVC-2

JANコード：4582448450419

5.2 衝撃感度設定

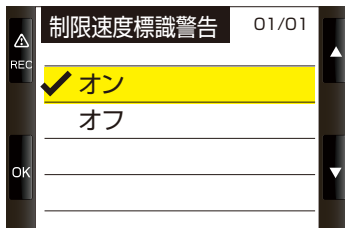
Gセンサーの録画トリガー強度を設定します。(低感度/中感度/高感度/オフの4階段)



5.3 安全走行

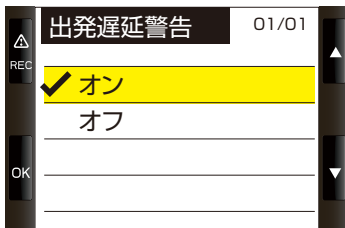
5.3.1 制限速度標識警告

標識警告のON/OFFを設定します。



5.3.2 出発遅延警告

出発遅延警告のON/OFFを設定します。



5.3.3 ドライバー疲労警告

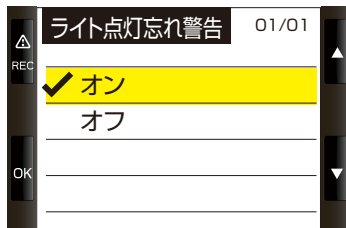
ドライバ疲労警告の作動時間を設定します。

(30分／1時間／2時間／オフ)



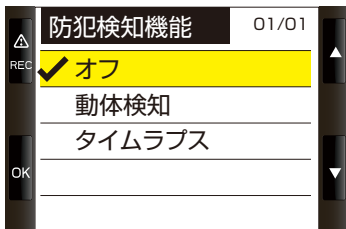
5.3.4 ライト点灯忘れ警告

ライト点灯忘れ警告ON/OFFを設定します。



5.4.1 防犯検知機能

動体探知機能:オン／オフ、タイムラプス(1フレーム／1秒):オン／オフ。



※「動体検知機能」や「タイムラプス」は車が停車中の防犯監視機能として設計されています。必ず、通常録画中もしくは車走行中には「動体検知機能」や「タイムラプス」をオンしないでください。

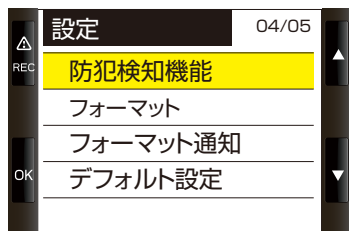
PAPAGO! 防犯監視機能対応

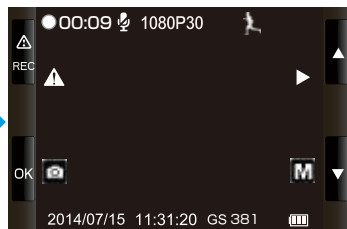
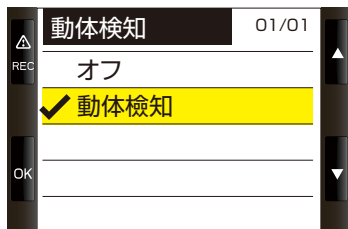
動体検知監視機能・イタズラや当て逃げ等の対策 設定方法

動体検知機能を「オン」に設定し、カメラ上の映像に約1分間変化がないと待機モードに入り、待機モード中、車の前方に人や車が通ると設定された録画時間(3分／5分)で自動録画開始・完了し、また約1分間前後に特に変化がないと再度待機モードに入ります。

通常は、定期的にメモリカードに入っている録画データをご確認頂ければ良いですが、もしも、何かで自分の愛車や周りの状況に違和感を感じる場合、直ちにその録画データをご確認の上、車の点検を行ってください。
PAPAGO! 防犯検知機能対応ドラレコ は、万が一の事故の時はもちろん、いたずら対策に役立ったり、時には事件解決の決め手となったり様々な用途で活躍出来ます。

(1)「防犯検知機能」→「オフ」(初期設定)→「動体検知」を設定ください。





(2)カメラ上の映像が10秒間経過すると画面が消え(モニター非表示)、約1分間、画面上に変化がないと「待機モード」に入ります。→待機モード中、車の前方に人や車が通ると「動体検知」が作動し、基本録画時間1分間から最大設定された録画時間(3分／5分)で自動録画開始・完了→変化がないと再度待機モードに入ります。また、どちらかのボタンを押すと一旦「動体検知」機能が停止し、「ポップアップメッセージ」にてお知らせします。

※※※注意※※※

「動体検知機能」や「タイムラプス」は車が停車中の防犯監視機能として設計されています。本機能が稼働時にモニター画面が非表示(モニターに何も表示されません)され、本体の電源オフもしくは本体が動作していないと勘違いされてしまうため、必ず、通常録画中もしくは車走行中には「動体検知機能」や「タイムラプス」をオンしないでください。



「OK」「▲」「▼」どれかのボタンを押せば、モニターが表示され、「ポップアップメッセージ」にて知らせます。



※本機能を常時稼働させるには別途専用スマート常時直結電源コードもしくは外部常時電源供給装置が必要となります。

※スマート常時直結電源コード

型番：A-JP-RVC-1

JANコード：4582448450372

※常時電源から電源供給をする場合、エンジンを停止してもバッテリーを消費します。お車のご使用状況によりバッテリーが深刻な状態になる前に必ず電源ケーブルを取り外してください。バッテリーの充電状況はバッテリー劣化や寿命により大きく変わりますのでご注意ください。動体が多くなる場所ではご使用は連続して録画することになりバッテリー上がりの原因となりますのでご注意ください。

5.4.2 タイムラプス

タイムラプス機能のON/OFFを設定します。



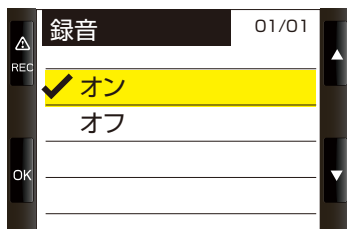
5.5 日付/時刻設定

日付と時間を設定します。



5.6 録音

録画中と同時に音声記録するかを設定します。



5.7 ボタン音

ボタン操作音のON/OFFを設定します。



5.8 日付表示

映像に時間表示を書込みします。



5.9 循環録画

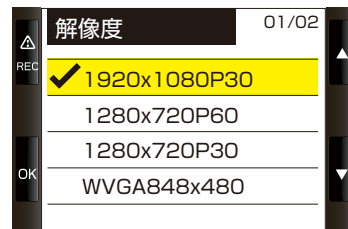
循環録画のの時間を設定します。



5.10 解像度

録画の解像度を

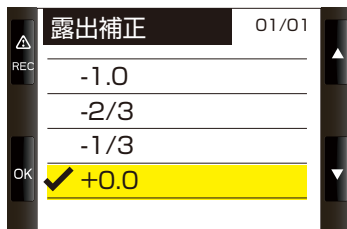
1920x1080P30、
1280x720P60、720P
1280x720、1280x720P30、
WVGA848x480に設定します。



5.11 露出補正

露出補正(EV値)(7段階)を調整し、適切な露出値を調整出来ます。

*EV(露出)値により映像画質が影響されます。



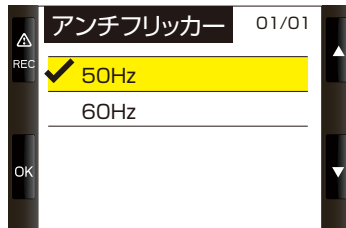
5.12 LCDオートオフ

スクリーンタイムアウトの時間を設定します。



5.13 アンチフリッカー

電源周波数を50Hz か 60Hzに設定します。



5.14 ビデオ出力形式

ビデオの出力を設定します。
※初期設定はPAL形式となっていますが、NTSC形式を変更ください。



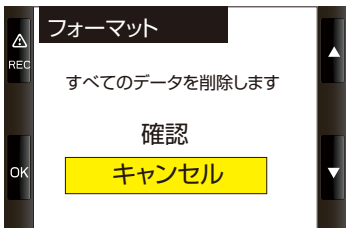
5.15 システム言語

メニュー言語を設定します。
日本語、英語、中国語(繁／簡)、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語など全9ヶ国語。



5.16 MicroSDHCカード をフォーマット

MicroSDHCカードをフォーマットします。



 この操作はMicroSDHCカードの全てのデータを削除します。
この操作は後に戻せません。映像または写真のバックアップを取ってから
この操作をおこなってください。

5.17 フォーマット通知

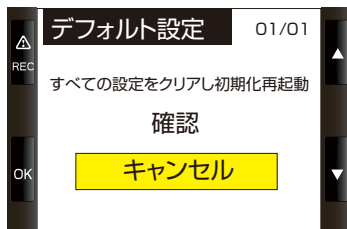
MicroSDHCカードのフォーマット通知を設定します。

※MicroSDHCカードを正しく安定してご使用いただくために、SDカードは定期的にフォーマットを行うことをお勧めします。



5.18 デフォルト設定

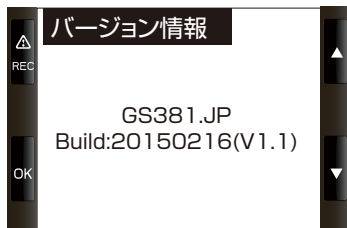
各設定が工場出荷時のデフォルト値に戻ります。



5.19 バージョン情報

システムファームウェアのバージョンを表示します。

2015年2月現在のバージョンはV1.1です。



※※※安全安心機能のアラーム音（ビープ音）※※※

安全安心機能が稼働時、本体に内蔵されているブザーより、アラーム音を促してくれる音です。

制限速度標識警告:「・」短x1回

出発遅れ警告:「―」長x2回

ドライバー疲労警告:「―…」長x1回、短x2回

ライト点灯忘れ防止警告:「……」短x5回

※※※速度超過警告※※※

設定メニューの中で下記二つ設定機能を起動する必要があります。

●速度制限標識警告機能:オン

●GPS:オン

車の走行速度が道路上の速度制限標識の制限速度以上になる場合、道路上の「速度制限標識」のマークが表示→警告アラームが鳴る→「速度超過警告／スピードオーバー」画面が表示して注意を促してくれます。



6.GoLife（PCソフトウェア）

6.1 システム要件

OS	Microsoft Win 8 (32/64) / Win7 (32/64) / VISTA / XP
CPU	Pentium4 2.4GHz以上
メモリ	512MB以上
I/F	SDカードリーダー
推奨ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 8

6.2 ソフトウェアのダウンロード

本製品に専用ビューアソフトは同梱しておりません。

お手数ですが、下記のダウンロード先で弊社のGoLifeソフトウェアをダウンロードください。

<http://www.papago.co.jp/golife.html>

ダウンロードした圧縮ファイルの解凍して、setup.exeというファイルを実行してGoLifeインストールください。

インストール後、GoLifeのショートカットがデスクトップに作成され、GoLifeを実行できるようになります。

6.3 プレイヤー インターフェイス



- ①.ビデオ ファイル リスト
- ②.ビデオ再生
- ③.機能リスト

7.ドライブレコーダー専用オプション部品早見表

PAPAGO! GS381専用オプション部品

製品	型番	JANコード	製品名
	A-GS-G08	4582448450396	GoSafe 200、 GoSafe 381 専用シガープラグケーブル
	A-GS-G09	4582448450402	GoSafe 200、 GoSafe 381専用 バックミラー フレーム
	A-PPG-P03	4582448450389	GoSafeシリーズ 専用吸盤式マウント 「対応機種」 GoSafe 200、 GoSafe 381

PAPAGO! 専用スマート常時直結電源コード

製品	型番	JANコード	製品名
	A-JP-RVC-1	4582448450372	スマート常時直結電源コード 「対応機種」 GS110、GS115、GS200、 GS210、GS220、GS272、 GS350、GS360、GS372、 GS381、GS520、GS525

PAPAGO! 専用ドライブレコーダー 対応 GPSアンテナ

製品	型番	JANコード	製品名
	A-JP-RVC-2	4582448450419	ドライブレコーダー 対応 GPSアンテナ 「対応機種」 GS118、GS381、GS372、 S30

※一部図形表示や写真等はイメージで、実際のものとは異なる場合がございます。予めご了承ください。

また、製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。予めご了承ください。

ドライブレコーダー専用オプション部品のご購入は、こちらの
support@papago.co.jp までお問い合わせください。

8.お役立ち情報

清潔

- レンズの撮影効果に影響を与えないようにするため、本機のレンズに異物が付着した際は、指で直接ディスプレイに触れないでください。
- 機器に異物が混入した際は弊社までご連絡いただき、ご自身で本機や車用変圧器を解体しないでください。

使用上のご注意

- 長時間車から離れる際は、機器を取り外し、車用変圧器を抜いてください。
- 湿気が多い場所や高温の場所に機器を放置しないでください。
- メモリーカードの性能を保つため、長時間機器をご使用にならない場合はメモリーカードを取り出してください。

トラブルシューティング

■不具合かな?と思ったら

製品の動作不具合の疑いがある場合、以下の項目を①②③をご確認ください。
作業内容は取扱説明書をご確認ください。

①メモリーカードのフォーマット

必要なデータがあればパソコンにデータを保存してください。

本体の設定画面からフォーマットを選択し実行してください。

本体でフォーマットできない時にはパソコンでフォーマットを実行してください。

※フォーマットする理由

メモリーカード側の仕様で使用状況により書き込みできない状態になることがありますので、定期的にフォーマット(初期化)して正常な状態に戻して下さい。

②電源(製品側の動作をチェック)

必ず付属のシガープラグ電源ケーブルで車側のシガーソケットに直接接続してください。

シガー電源分岐アダプタや他の電源入力を使わないでください。

他社製の変換ケーブルは電圧に影響を及ぼす場合もあるため動作保証できません。

③設定のデフォルト(初期化)

ドライブレコーダー本体の設定をデフォルト(初期化)してください。

症状が改善されましたら製品自体に問題がございません。

症状改善されない場合には使用状況にもよりますが念のためシガープラグ電源ケーブルを触っていただき断線や接触不良の有無も念のためご確認ください。

■ F A Q

Q:製品が起動しない

A:製品本体に正しい電力が供給されているか、あるいは電力が低すぎないか確認してください。

“”キーを押して再起動してください。

Q:モニターに現在録画されている映像が表示されない。

A:録画モードでディスプレイ表示がオフになっていないか確認してください。

“”キーを押してディスプレイ表示をオンにしてください。

Q:メモリーカードがいっぱい

A:メモリーカードをフォーマットしてください。

必要なデータがあればパソコンにデータを保存してください。

削除および初期化は後に戻せません。映像や写真のバックアップを取ってから再操作してください。

本体の設定画面からフォーマットを選択し実行してください。

本体でフォーマットできない時にはパソコンでフォーマットを実行してください。

Q:本体で映像を再生できない

A:メモリーカードの映像や写真のファイル名やフォルダ名が変更されていないかパソコンで確認する。

メモリーカード自体が破損している可能性もあり、パソコンで認識できるか確認してください。

※メモリーカードについて

メモリーカードは消耗品のため書き込み可能回数や使用状況などで製品寿命があります。

約1年を目安に交換をお勧めしています。

安心してご利用頂くために定期的なフォーマットを推奨しております。

(1~2回/毎月)

Q: パソコンを持っていない場合

A: ドライブレコーダー本体のモニター画面で再生できます。

Q: ビデオ出力

A: 外部出力でビデオ出力できます。(ケーブル/モニター/電源の確保)
市販されている汎用のAVケーブル 3ピン-1(4極)ミニプラグが別途必要になります。

シガー電源プラグでの接続、または5V1Aの電源が必要です。

Q: 取り付可能なルームミラーのサイズ:

A: 高さ: 約6~8cm、奥行: 約3.5cm(12ページにてご参照ください)

Q: 本製品装着後、専用取り付け金具から一番先端のレンズまでの空間

A: 約6.5cmまで(12ページにてご参照ください)

Q: アイドリングストップ機能搭載される車やハイブリッド車(一部)の場合

A: アイドリングストップ機能搭載される車やハイブリッド車(一部)などは省電力やECO機能を搭載される設計のため、内部電源稼働形式は異なりますので、場合によっては、本製品はうまく稼働出来ない場合があります。
これは、本製品の不良ではありませんので、ご了承ください。

Q:シガーソケット電源以外に電源を取る方法

A:専用スマート常時直結電源コードもしくは外部常時電源供給装置が必要となります。

Q:ケーブルの埋め込み

A:フロントガラス沿いと内張り内に埋め込みの簡易参照作業手順をWEB公開

<http://www.papago.co.jp/howto.html>

※但し、専用電源ケーブルの固定や配線はすべてお客様の自己責任となりますので、ご了承ください。

Q:付属のシガージャックケーブルの長さは？

A:本体と同梱のシガージャックケーブルの長さは、約4mです。トラック等の大型車両への設置の場合でも、十分な長さです。（別途確認する必要があります）

Q:信号機の色(LED式信号機の点灯)は正しく録画されますか？

A:LED式信号機は、目に見えない高速で点滅しているため、本機で記録した場合には、点滅したように記録されます。

Q:データ保存 常時録画データ

A:メモリーカードに保存された古いデータから順に上書きされます。

必要なデータがある場合、パソコンにコピーしてバックアップ又はも別のメモリーカードを入手してご使用ください。

Q:緊急録画データ

A:メモリーカードの30%の領域を使用すると、古いデータから順に上書きされます。

必要なデータがある場合、パソコンにコピーしてバックアップ又はも別のメモリーカードを入手してご使用ください。

Q:運転1週間以上、車に乗らないことがある

A:ドライブレコーダー本体に内蔵されたバッテリーが充電されないため、設定の初期化されてしまうことがあります。

夏場の熱対策として安心してご利用いただくためにバッテリー容量を小さくする耐熱耐久性の設計にしています。

一定の時間通電してバッテリーの充電を行ってください。(約2時間以上)

上記の内容でもまだ解決しない問題については、販売店か当社までご連絡くださいますようお願いいたします。

9.その他

CE規制について

本説明書に記載されているマーク、商品・サービス名は、各社の商標または登録商標、版權であり、説明する目的として使用するのみです。



WEEE. [(コマ付きのごみ箱とx印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

WEEE



電池

製品やパッケージに本記号が表示されている場合に、本製品と内蔵電池を廃棄する際には、一般の廃棄物とは分別して指定した適切な回収場所に廃棄してください。より詳細な情報については、各自治の廃棄物管理機関や販売元あるいは廃棄物サービスステーションにお尋ねください。資源回収は人々の健康と環境保護に役に立っております。是非、ご協力をお願いします。

本製品は下記の規制に満たして設計されております。

電磁環境両立性指令 2004/108/EC

低電圧指令 2006/95/EC

電気電子機器における特定有害物質使用制限指令2002/95/EC

EuP指令(エネルギー使用製品)2005/32/EC

ErP指令(エネルギー関連製品)2009/125/EC

FCCについて

本製品はテストを実施した結果、クラス B デジタル装置の基準を満たし、FCC 規則パート 15 に準拠していることが認められました。

これらの基準は住宅への設置で有害な干渉に対して十分な保護を規定することを目的としています。この機器は高周波エネルギーを発生、使用、また放射をすることがあるので指示どおりに設置して使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を起こす可能性があります。また、インストールの仕方によっては干渉が生じないという保証はありません。本製品が無線受信またはテレビ受信に対して有害な干渉を起こした場合（装置のスイッチをオフにしたりオンにしたりすることにより判断できます）、以下の手段を講じることが推奨されます：

- 受信アンテナの方向または位置を再調整します。
- 本製品を受信装置から遠くに離します。
- 本製品を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続します。
- 販売店または経験豊富な無線／テレビ技術者に相談してアドバイスを求めます。

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます：

(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC注意事項

PAPAGOが明示的に承認していない機器の変更や修正を行った場合には、ユーザが機器を使用する正当な権利が無効になることがあります。



地デジなどと電波干渉しにくい設計を採用

10.修理依頼時の注意事項について

より正確に、より早くスムーズに修理検証に対応するために、店舗もしくは当社宛に製品をご返送頂く場合、お手数ですが必ず下記事項をご確認頂きご依頼ください。

保証期間内の場合、必ずご購入日が記載された証明書(レシートなど)の控えを添付願います。添付が無い場合には保証期間対象外のため有償修理となります。弊社修理規定に基づいてご対応させていただきます。

■修理依頼では必ず付属品一式をご用意ください。

- ・ドライブレコーダー本体
- ・付属の専用シガープラグケーブル(電源コード)
- ・付属メモリーカード

※症状が再現できない場合には品物をそのままご返送致します。必ず付属品一式をご用意ください。

※メモリーカードのデータは修理依頼の前にお客様ご自身でバックアップを行ってください。

当社では保存されている記録データを保証できかねますので、ご了承ください。

■ご注意事項

修理依頼品をご送付頂く際の送料はお客様負担となりますので、予めご了承ください。

輸送中の破損や紛失などについて弊社では責任を負いかねます。ご注意のうえ梱包してください。

※修理依頼の前に!

お手数ですが、ダブルシューティング35ページをもう一度ご確認ください。

※PAPAGO!製品に関するお問合せについて※

弊社は万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご不都合など、お気づきの点がありましたら、大変お手数ですが、どうぞご連絡をください。

公式ホームページのお問い合わせフォームをご記入頂く場合:

<http://www.papago.co.jp/rma.html>

製品メールサポート担当宛てにご連絡頂く場合:

support@papago.co.jp



一番 ババゴ
0570-001-885

※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間: 10:00~12:00 14:00~17:00
月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始特定休業日を除く)

本製品並びに取扱説明書や製品のファームウェアなどは品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、
お客様ご自身が弊社ホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお勧めします。

PAPAGO!

Driving Partner with you!

PAPAGO JAPAN株式会社

Designed in Taiwan, Made in China

Ver.2.2 201510



